

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		人間関係づくり支援事業		課名	学校教育課	事業No.	264
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		3	地育力が支える学び合いで、生きる力を持ち、心豊かな人材を育む			
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画			
事業目的	対象	小中学校児童生徒					
	意図	学校のいじめ・不登校・問題行動等への対応を支援したり、教育相談体制を充実することで、児童生徒が安心して学校生活を送れるようにする。					

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
	・各中学校区に教育支援指導主事を配置し、学校等と連携しながら不登校児童生徒に寄り添った支援を行いました。 ・教育相談員を配置し、寄せられる相談等に適切に対応しました。また、中間教室に適応指導員を配置し、不登校児童生徒の学習指導等を行いました。 ・教職員を対象に、不登校の未然防止に向けた安全安心な学級づくりや生徒指導に関する研修会を開催しました。 ・全校でいじめ対策指針等に基づき、いじめの未然防止に通じる取組や個別の指導等を行いました。		教育相談員人件費					2,562	
			中間教室適応指導員人件費					4,223	
			講師等謝礼					35	
			相談室、中間教室消耗品費					163	
			不登校児童生徒支援事業交付金					1,078	
			教育相談員、中間教室通信運搬費					37	
			印刷製本費					62	
			手数料					9	
			教育支援指導主事(人間関係担当)人件費					17,764	
その他の経費							0		
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	教育相談・中間教室適応指導員の配置	人	3	3	3	3	3	3	
	教育支援指導主事(人間関係担当)の配置	人	7	7	7	7	7	7	
	生徒指導等研修会の開催	回	-	-	-	-	-	3	2
	不登校支援連絡会の開催	回	18	18	18	18	18	18	18
	通室民間施設数	箇所	-	-	-	-	-	5	4
2年度 決算 (千円)	予算額	27,673	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	25,933	(国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(10/10)						
	財源の 状況	国庫支出金	148	(そ) ふるさと寄附金					
		県支出金	0						
		地方債	0						
		その他	1,300						
一般財源	24,485								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	2	13	1	1,944	1,384	教育相談事業費
2	1	10	1	2	1	3	2,618	2,562	会計年度任用職員人件費
3	1	10	2	2	1	3	2,097	2,060	会計年度任用職員人件費
4	1	10	3	2	1	3	21,014	19,927	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・不登校児童生徒の在籍比率が増加しています。(H30年度:1.50 R元年度:1.90 R2年度:2.28) ・小学校の不登校児童数は52名で前年度より5名増加しており、特に1年生と5年生に多い状況です。中学校の不登校生徒数は130名で前年度より22名増加しており、特に1年生と3年生が多い状況です。また、小学校6年生から中学校1年生に進級してからの不登校生徒数が31名と例年に比べ高い数値であり、中一ギャップの傾向がみられます。							
上記の課題解決のための有効策		・不登校対策5つのアクションに基づく、不登校の未然防止、早期対応、適時適切な個別指導が重要です。 ・児童生徒が安心して学校で学習や生活ができる学級経営や学級づくりが重要です。 ・関係機関と連携し、不登校児童生徒の多様な教育機会の確保を図ることが重要です。							
次年度に向けての取り組み		・各中学校区に教育支援指導主事を配置し、学校等と連携しながら個々の児童生徒の状況に寄り添う支援を行います。 ・不登校の未然防止、早期発見に向け、教職員を対象にした安心安全な学級づくりに通じる研修会を開催します。 ・関係機関と連携し、校内外における体験活動、学習支援の充実、安心できる居場所づくりなどを推進します。							